

岡山大、北大と人工骨V B

岡山大学は北海道大学と人工骨を開発するベンチャー企業を設立した。体に吸収されやすくて負担が少なく、既存の骨にくっつきやすい新しい人工骨で、歯科や整形外科など医療分野に応用する。2021年度をめどに実用化し、販売開始から3年後に6億5千万円の年商を目指す。設立したのはメディカルクラフトン（岡山市）。共同研究を進めていた医療用品製造のダイヤ工業（同）が全額出資した。